

# 開 催 報 告

## あかし女性応援ねっと会員総会 女性活躍の取組み紹介&異業種交流会

■2022年8月6日(土)

■複合型交流拠点ウィズあかし フリースペース

13:00～ 会員総会  
13:45～ 女性活躍の取組み紹介  
14:55～ 異業種交流会

■参加者

会員総会 会場16名、オンライン5名  
イベント 会場39名

### 総合司会



あかし女性応援ねっと  
副代表 吉田 美香

### 会員総会



議長

あかし女性応援ねっと  
代表 森 一美

会員総会では、2021年度事業報告、2021年度収支決算について審議し、可決されました。  
報告事項では、今年度の事業計画および収支予算、運営委員の交代、新任について報告がありました。

### 開会あいさつ

コロナ禍で開催も悩みましたが、ウィズコロナのフェーズに入り、感染対策を十分に取しながら触れ合わないで交流いただければと思います。

本日は、キャタピラーで自主グループとして活動しているらっしゃるWIN明石のみなさまに発表いただきます。4年前にも研修で発表いただき、以後お世話になっています。本日は男性の登壇者もおられ、楽しみにしています。

先日、東京の丸の内に少し滞りましたが、働く女性の姿が、制服にハイヒールが当たり前だった頃から、とても変わったことを実感しました。

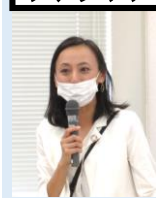
今まで当たり前であった事をちょっと気づいていく、ということが続けていくと、より女性が活躍しやすい社会環境になるのではないかなとつくづく思います。

今から地道に共に学んで参りましょう。



あかし女性応援ねっと  
代表 崎野 圭子

### イベント ファシリテーター



あかし女性応援ねっと  
事務局長 柏木 登起

### 取組み紹介

キャタピラー-WIN明石に学ぶ 自分らしく活躍する方法

キャタピラー-WIN明石から4名の方にご登壇いただきました。

WIN=WOMEN'S INITIATIVE NETWORK

- ・ジェンダーダイバーシティの観点から、様々な活動を行っている社員の有志による自主社内グループ
- ・世界各国に76チャプター、4,600人以上のメンバー

WINの明石地域グループであるWIN明石には、現在メンバーは44名、うち16名の男性が在席しており、キャタピラーの『POWER OF EVERY ONE 全員の力』の考え方のもと、男性も女性も含めた多様な視点で活動をされています。ここではご紹介しきれないたくさんの事例を発表いただきました！

WIN  
branding

3月8日の国際女性デーに毎年イベント。毎年恒例のクイズでは「このクイズがきたら女性デーだなと思う」という声があった

そうです。また、STEM教育イベントの取り組みでは、あかし女性応援ねっともコラボしました！

Men As ALLIE

男性と女性が混合で、多様な課題を一緒に考えていく、昨年WINに入ったチーム。今年は、ジェンダーバイアスについて、「男性の特権は気づかないところにある」「当たり前だと思っていたことが違うんだ」という気づきが得られるような活動をしていくとお願いいただきました！



製造部  
佐藤 竜之介さん

経理部  
西本 隆洋さん

構造設計部  
梅谷 麻里香さん

ビジネスサポート部  
齋藤 由佳さん

育休マニュアル  
チーム

育休マニュアルのアップデート、育休取得者の座談会を通し、現在は男性の育休取得促進につながる活動をされています。社内メール&社内SNSを活用し、

活動内容を周知するなど情報発信。  
毎月開催している、明石所長とコーヒーを飲みながらトークするマンスリーコーヒートークでは、悩みや相談ごとを所長に直接話すことができる機会をつくり、「トップの思いが聞けてよかった」という感想をいただいているそうです。

## 質疑応答

モチベーションアップややりがいの秘訣は？

やらされているわけではなく、一人ひとりが本当にやりたいことをやっていることが、モチベーションアップにつながっていると思います。仕事や子育てが忙しい時は無理せず休み、「やれる時に取り組む」ことで集中できています。

チーム運営の工夫は？

6~7人の分科会に分かれて活動しており、その中でリーダーをつくるのではなく、グループ単位で意見を出し合っているのが、程よい主体性のある運営につながっているのではと思います。

新メンバーの巻き込み方は？

なるべく発信をし、発信するためには活動が必要。少しでも興味のある人には詳細をお話しています。継続して続けていくことが大事です。

メンバーの世代交代など、工夫や意識していることは？

WINの役職者は2年で交代し、選挙で決めています。はじめは年長者でも、2年ごとに代わるので自然と若い世代が巻き込まれて新陳代謝がうまれています。

ボトムアップ・トップダウン 大事なのは？

どちらも大切ですが、日本人従業員の特徴として、トップが応援してくれているというメッセージを送ると動きやすいのではないかと感じています。管理職からの推進は大切。管理職が活動の後押しをしていくには、多様性を取り入れることによりチームが強くなっていくことを理解することが必要です。

活動時間は、勤務時間内？ 事前準備はどうしてる？

勤務時間内にはしています。会社としての理解の上で成り立っています。育休座談会は、コロナ以前は昼休みを活用していた。仕事に影響が出ないように、バランスをみながら活動をすすめています。

正社員など、メンバーの構成は？

WINはキャピタラーの社員で構成されているので、全員正社員です。活動を引っ張っていく立場のステアリングメンバーは分科会を構成しており、一緒に様々な活動を行うサポートメンバーが自由に出入りできるイメージです。好きなときに活動できるのは、サポーターが人材プールのような役割で活動していることも大きいです。

最後に

最初は少数の女性が集まって何かしているグループだったのが、人数も増え知名度も上がってきました。WIN明石の活動を細くでも長く続けていきたいです！  
(斎藤さん)

結局は思いやりが大切だと思っています。多様性が広がり、会社や社会全体に認められていくよう活動していきたいです。(西本さん)

## 異業種交流会

フリートーク形式で、名刺を交換しながら交流しました！

事例発表していただいたWIN明石のメンバーのみなさんにも参加していただきました。

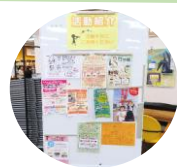
来場の際に貼っていただいた名刺ボードの名刺や活動紹介ボードのチラシなどを見ながら、新たなつながりを持つ時間となりました。ここで生まれた横のつながりが、みなさまの今後の活動の新たなきっかけになることを願っています！

周囲の男性社員が、育休を取りたいと思えば取れる環境をつくってきたいです。  
(梅谷さん)

男性の育休取得の推進と、男性が家庭に入っていくような取り組みをしていきたいです。(佐藤さん)



名刺ボード



活動紹介ボード

## 閉会あいさつ



あかし女性応援ねっと 副代表 小河 作江

本日はWIN明石の方ありがとうございました。そしてこのイベントにご参加いただきました皆様に、心から御礼申し上げます。

WIN明石の立上げでは、驚き、次に納得、疑問、決意、挑戦というプロセスがあったと伺っています。本日のお話を聞いて、立ち上げ時からどんどん変わっていることを感じました。

異業種の交流を持つことは大切なことと思っています。本日のイベントの中から、何か吸収していただけたら幸いです。

## アンケートより

WIN明石の積極的な活動に驚きました！

良い活動なので、もっとアピールしたらよいと思います！

交流会では、名刺交換やチラシの配布ができてよかったです

そのほか、「交流会の時間がもっとほしかった！」というご感想もいただきました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！